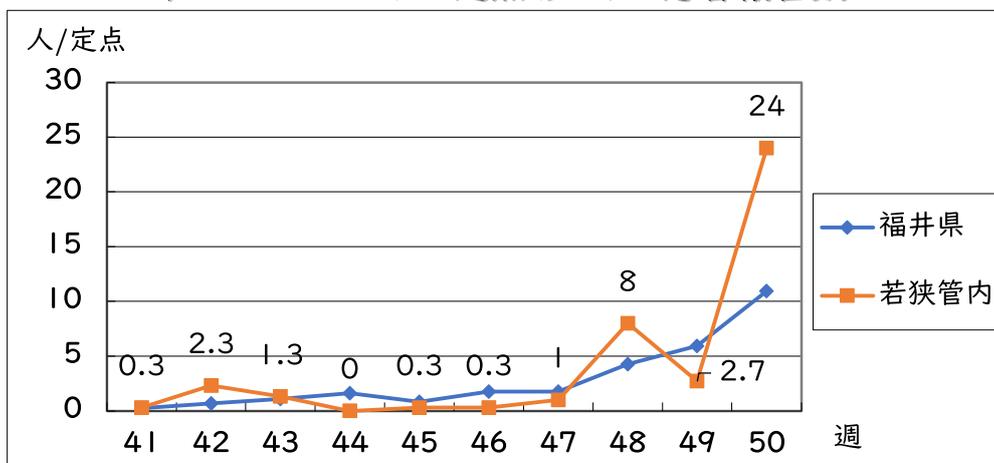


管内でインフルエンザ感染者が増加しています



福井県では、令和6年12月18日にインフルエンザ注意報が発令され、第50週（令和6年12月9日～12月15日）の報告では、1定点医療機関あたりのインフルエンザ患者数が若狭地区24.0名と高い値を示しています。また、令和6年12月16日以降、学校や保育園を中心に集団発生報告が続いており、学級閉鎖も出ています。

◇インフルエンザの定点あたりの患者報告数



インフルエンザと普通の風邪はどう違うの？

普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心です。

インフルエンザはこれらの症状に加えて、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れるのが特徴です。こどもはまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力が低下している方では二次性の肺炎を伴うなど、重症になることがあります。

インフルエンザを予防しよう！

- 毎朝の健康チェックを入念に行う
- 外出後は流水・石鹸による手洗いを行う
- 適度な湿度(50～60%)を保つ
- 十分な休息・バランスの取れた栄養摂取で抵抗力を高める
- 人混みや繁華街への外出を控える、出かけるときはマスクを着用する
- 室内ではこまめに換気する



社会福祉施設等において、集団感染が疑われる場合には、早めに当センターまで御連絡ください

[発信者] 若狭健康福祉センター 地域保健課

TEL:0770-52-1301 FAX:0770-52-1058 メール:w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※ご不明な点やご意見は上記へ連絡下さい。

